

視覚心理学研究室（鍵本研究室）



教員：鍵本 明里 (助教)

E-mail: kagimoto (at) cc.nara-wu.ac.jp

研究室 & 実験室：F304-2 新4回生：2名

2023年4月に発足しました

本研究室では、健康で快適な光環境の構築を目的とし、視覚の基礎的なメカニズムの解明から、ものの見え方に関する応用的な研究まで行っています。研究方法としては、いずれもヒトを対象に、**物理刺激（主に視覚刺激（光、画像、光環境））に対する心理的な影響**を評価、解析しています。

現在の研究テーマ

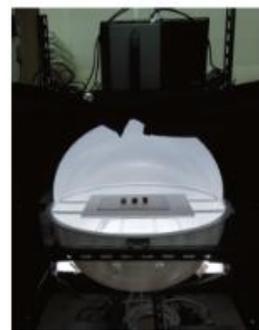
- ・食肉の焼成に適した照明 
- ・網膜神経節細胞（メラノプシン細胞）の視覚的機能の解明

研究手法

- ・主観評価実験を通して、**光環境の評価**、解析
- ・**心理物理学的手法**を用いて、ヒトの視知覚について評価、解析

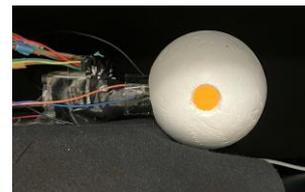


日常生活を送るうえで必要不可欠な「光」ですが、私たちはこの光からさまざまな情報を得ています。たとえば、日中と夜間では物の見え方が大きく異なるように、光の種類が異なると、**明るさや色、物体の質感**などの視覚的な側面に影響を及ぼすほか、快適さやストレスなどの**心理的な側面**にも影響を及ぼします。そこで本研究室では、さまざまな生活行為に応じた適切な光環境について、主に**視対象物の見え方**に着目して検討をおこなっています。



測色装置

さらに、ヒトは網膜にある光感受性細胞の応答によって、色や明るさなどの視知覚を形成していますが、光感受性細胞のうち、2000年頃に発見されたメラノプシン細胞の視覚的メカニズムについては、まだまだ未解明な部分があります。このメカニズムを解明することで、ヒトの性質に寄り添った製品の開発などに活かすことが可能となります。そこで、心理物理学的手法を用いて、**網膜神経節細胞（メラノプシン細胞）の視知覚などへの影響**について実験を通して検討しています。



視覚刺激装置

実験にご協力いただける方、募集しています！

その他、光がヒトに与える影響について興味のある方は、いつでもご連絡ください。